

「実戦トレーニング 2000 題 PLUS」シリーズ 刊行にあたって

昭和 62 年に第 1 回の管理栄養士国家試験が実施されてから 20 年が経過しました。この間、生活習慣病の増加など新たな国民の健康問題に対応すべく、国民健康づくり計画も平成 12 年にアクティブ 80 ヘルスプランから健康日本 21 へと変わり、同 14 年には国民の健康づくりを総合的に推進していく法的基盤である健康増進法が施行されました。また、診療報酬においては管理栄養士の技術評価項目が増加し、健康づくり施策の重要性にかんがみ、地方公共団体における管理栄養士の雇用も促進しています。

このような社会的情勢のなかで、管理栄養士に求められる知識、技能の高度化に対応するため、平成 14 年 4 月に改正栄養士法が施行され、新たなカリキュラムに基づいた管理栄養士の養成が開始されました。また、新カリキュラムで学んだ卒業生が管理栄養士国家試験を受けるのに合わせて、管理栄養士国家試験出題基準が改正され、平成 18 年の第 20 回国家試験から適用されました。新基準では出題分野は大幅に再編され、出題数は 150 問から 200 問となり、その中に応用力試験 10 問が組み入れられました。

第 20 回、第 21 回の合格率はそれぞれ 26.8%、35.2% ですが、第 21 回の問題は基礎的な問題が増加したため、合格率も向上しています。今後も前回程度の合格率で推移することが予想されますが、このように難易度が緩和された試験で合否を分けるのはわずかの正解率の差です。ある程度の基礎学力がある場合に、この差を埋めるためにもっとも効果的な方法は、多くの問題を科目ごと分野ごとに集中的に解くことです。これによって出題のポイント、つまり理解すべき重要事項を系統的に頭に叩き込むことができます。本シリーズでは、このために必要な各分野の問題を厳選し、5 巻を合わせた総問題数は 2,000 題以上に上ります。

本書の特徴は、

- ① 管理栄養士国家試験出題基準に完全準拠して作成しています。
- ② 大項目や重要な中項目には基本問題を配置し、関連する重要なポイントを整理しました。
- ③ 既出問題は重複を避け良問を選択し、最新の情報に修正しています。
- ④ 既出問題で十分にカバーされていない分野を中心に創作問題を作成しています。
- ⑤ 出題に関連した重要な事項を、Point として覚えやすい形でまとめています。
- ⑥ 索引を充実し、出題のポイントを理解するための参考書としても使えるようにしました。

などです。

本書を受験対策に活用し、一人でも多くの方が合格の栄冠を勝ち取られることを願っています。

2007 年 11 月

管理栄養士国家試験対策研究会